

# みのひろし後援会だより

編集・発行／みのひろし後援会 会長 岩崎正司（事務所/北広島町南方2830）電話0826-72-2618 きたひろネット050-5812-4661

## 今月予定していました みのひろし後援会総会中止！

緊急事態宣言は解除されましたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とします。

### 来年3月に備えて 後援会活動再開

後援会会長 岩崎 正司

みのひろし後援会の皆様方には、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

例年であれば、初夏を迎え忙しい中にも活気ある時季ですが、今年には未曾有の新型コロナウイルスの猛威に世界中が見舞われ、国内でも全国に緊急事態宣言が発令されました。箕野博司町長も北広島町対策本部長として先頭に立って、すべての対策に当たってこられました。

5月中旬になつてようやく新患者数も減り、徐々に外出自粛や休業要請が解除され始めました。引き続き警戒は必要ですが、ひとまず安心しました。

この間、みのひろし後援会では、青年部会・女性部会・顧問相談役会：総会は6月に4百人規模の豊平どんぐり村で、後援会だよりは印刷を終え発行直前でしたが、すべて緊急事態を配慮し中止してきました。ご協力に感謝しますと共に、これから後援会活動を再開いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

### コロナ危機で実感！

### 急がれるソサエティ5.0社会

町長

箕野 博司

4月16日全国に緊急事態宣言が発出され、広島県では5月14日約1か月ぶりに解除され、5月22日にはレベル1まで緩和されました。とは言え、まだまだ「新しい生活様式」と言われているように3密(密閉、密集、密接)の回避、マスク・うがい・手洗いなど続けていかなければなりません。経済は逼迫したままの状況で、インフルエンザ等が流行する秋冬には第2波の感染拡大も懸念されます。町民の皆様には、多くの不安・ご不便を感じておられる中、多大なるご協力をいただきお礼申し上げます。町としましても、国・県と連携しながら最大限の対応をしてまいりますので、引き続きのご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

今回の大惨禍で、IT後進国の様相が明らかになった日本。後手とは申せ、国が目指している「ソサエティ5.0社会」の実現が急がれます。これは、「I・O・T・A・I・ビッグデータ等の更なる進化により、少子高齢化や地方の過疎化などの様々な課題を克服し、希望の持てる社会」を実現しようとするものです。

このことにより、行政はもちろんですが、農業・医療・福祉・教育・観光・地場産業など、あらゆる分野に影響を与えることとなります。例えば、自動走行などを取り入れたスマート農林業やスマート農村を築くことも可能になるのです。そしてこのソサエティ5.0を支える重要なインフラが、光ファイバー網です。国も光ファイバー化に向けた補助制度を創設し対応しています。

本町としては、北広島町の持続可能な未来のため、スマート農村を築く基盤である光ファイバー網を、各家庭・事業所等まで設置していく必要があります。

きたひろネットの機器等が更新時期を迎え多額の経費が見込まれている中、厳しい財政状況ではあります。将来の北広島町のためには早急に民営化も含めた検討を進め、取り組んでいきたいと考えています。また、防災行政無線は現在使用しているアナログ方式が使用できなくなることから、きたひろネットやスマートフォンなどを利用した複合的に利用できる仕組みに移行していきます。これから、具体的な提案をしていきたいと考えていますので、今後ともご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

# 支部だより

## 異常気象、暖冬？

芸北支部 山根 清吾

平成の終わり31年元旦、令和2年初めの元旦、ここ近年雪の無い正月を迎えています。

テレビの天気予報で統計を始めて、初雪の一番遅い日は、昭和10年1月16日と放送されていきました。私の記憶では、昭和35年なのですが、その1月15日、成人式に出席するために、朝から革靴を履いて、現在の役場芸北支所のところにあつた芸北森林組合会議室に行きました。式の後、友人達と移原にあつた吉川旅館に帰り、夕方から祝賀会をしました。明朝、外を見ると30センチの雪が積もっていました。隣の上野商店さんから長靴を持ってきてもらい履いて帰りました。後日、靴代を払った記憶があります。

それから、3年後の昭和38年の三八豪雪、現在のように除雪機械も多く無く、大変苦労したことを思い出します。

私も昭和45年に広島市内から芸

北へ帰り、冬季に美和スキー場で支配人として平成21年まで38年間務めさせてもらいました。近年雪不足が続き、スキー場の閉鎖も2、3ありました。スキー場関係者の方が心配されている事がよく理解できます。

困っているのはスキー場の方ばかりで無く、除雪を請け負つておられる建設会社と個人経営者などおられると思います。スキー場・除雪関係者に少しでも潤いがあることを願っております。

《追記》(1月17日中国新聞)

初雪最も遅く、広島県85年ぶり  
〈記録続いて18日中国新聞〉  
降らぬ雪、気をもむ冬、  
スキー場などダメージ



## 懐かしき思い出

豊平阿坂 池田 元春

私は中学を卒業して、大朝の新庄高校にお世話になった。

父も同じ新庄の旧制中学を卒業しており、戦前の学生生活など嬉しそうによく自慢していたのを聞かされて、私も入学を決めた。

入学した頃は、先生も友人も大朝やその近辺の人達がほとんどであった。学校や寮、下宿で高校生活を共に過ごした日々の青春時代は、淡い思い出などたくさん詰まつた新庄の地である。

若い頃は、卒業してからも毎年のように、お世話になった先生方や共に高校で過ごした懐かしき友人達との再会を楽しみによく訪れたものだ。私の家からは、現在のように道路など整備されていないかつた道のりでも、新庄の地が遠く感じたことは一度もない。

現在でも、当時の先生方や友人達との交流があり、会って話をしたり、酒を酌み交わすのが楽しみである。

箕野町長とその後援会が今後もあります発展されることをお願いし寄稿とします。

## コロナウイルスの終息は？

八重中央支部 沖田美登里

新聞・テレビで、新型コロナウイルスのニュースが流れない日はありません。その影響で、スポーツ・イベント等の中止又は延期の決定がなされています。

私の好きなプロ野球も、最初は無観客ということでしたが、延期になりました。

全国選抜高校野球大会へ出場が決まっている新庄高校の応援に参加しようと思つていましたが、前代未聞の中止ということになり、誠に残念です。前回は、何台ものバスで夜中行きました。今回は、大阪にいる友達の家泊まらせてもらつて行こうと、計画し楽しみにしていました。

特に選手の皆さんは、甲子園に向けて、必死に練習されてきたのに、今ここで中止ということになり、その落胆の度合いはいかばかりかと思えます。

このコロナウイルスの終息がいづになるのかわかりませんが、一日も早く収まることを祈るしかありません。

## 日々の生活の中で

大朝支部 土間 昭子

「パンデミックークラスタ？」聞きなれない言葉が日々飛び込んできます。令和2年初春に、誰もが「安穏な日が続きますように…」と願ったのではないのでしょうか。

我が家には、小学校から大学生まで4人の孫がそれぞれ卒業式を迎えました。同時に、私は30数年前の我が子たちの卒業式を思い出しております。在校生・地域の人たち、見たこともない来賓の方々、大勢の人たちに見送られました。式の後、校庭に集合し在校生の手で作ったトンネルをくぐり抜け、その先に待ち受ける先生と保護者、握手やハグ、笑顔あり涙ありのひと時、今思い出しても、ジーンと心に残る卒業式でした。

しかし、今年は異例尽くめです。時間短縮のために、挨拶はできるだけ短くするように。卒業生である孫の答辞も短くカットされ、在校生は代表者のみ。全員マスク着用アルコール消毒、日本国中同じような映像がテレビに流れています。

高校野球は中止になり、新庄高

校の球児達の気持ちはいかばかりか、計り知れませんが、

多くの大会、コンサート、東京五輪は1年後、…中止や延期の報道ばかりです。先の見えない新型コロナウイルスの感染予防対策です。

令和2年が数か月経った今、明るい陽射しは見えてくるのでしょうか？コロナウイルス終息宣言はいつ？新ワクチンは？何だか不安がかかっている命です。新型コロナウイルスに負けない毎日を過ごしたいですね。健康管理・規則正しい生活で、私たち夫婦は元気いっぱい笑顔でグラウンドゴルフを楽しんでいます。

## やっと始まった

## 道路工事

南方支部 佐々木和正

「キーツガーツ」急ブレーキの音。特に大型トラックやダンプが通行する昼間が多い。通行量の多い通勤時間の朝や夕方は、乗用車が多いので、比較的この音は少ない。

主要地方道千代田八千代線（県道69号）北広島町と安芸高田市の境の辺りである。ここは、道路幅

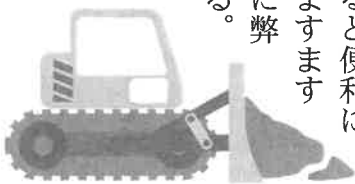
が急に狭くなり、蛇行している所である。15年前の調査では、通勤時間のピーク時で1時間当たり200台の車両数と記録してある。

しかし、現在は、当時の3〜4倍ぐらいの通行量のように思う。

20年以上前から山を切り崩し、この道路を直線にする計画が立てられ、測量も行われていたが、その後、断ち切れになっていた。この計画が、5年ぐらい前から、再浮上した。測量をし直し、残りの用地を買収して、工事にかかろうとした矢先の豪雨災害により、再び計画が先延ばしされていた。やっとこの3月から工事が始まったところである。

当初の計画では、3年間ぐらいの工事期間で完成の予定だったようである。しかし、県担当者からの情報では、財政の関係から5年以上かかるだろうとのことである。工事が始まることは嬉しいことであり、道路が完成すると便利にはなるが、交通量はますます増え、様々なところに弊害をきたしそうである。

一難去つてまた一難かも・・・



## 道路の草取り

川戸支部 友田 伸江

後援会だよりを地区内へ役員の人と手分けして、ここ何年か配つてきましたが、ここにきて手元に残る数が増えるようになりました。手渡しする時、いつも笑顔で話して下さっていた方たちが、入所されたり若い人のところへ出られたりして、お留守になったためと思われまふ。子どもたちも少なくなり、この先どうなるのだろうかと考えてしまいます。

人も少ないうえに、周りを見たら草ボーボー、そんな地区にはしたくありません。

「きれいな地域を残したい」

そんな思いから、道路の縁石の草取りをしています。誰が始めたか分かりませんが、毎回数人集まります。草の無い道路は広く見えますし、歩道も歩きやすいです。

休憩にお茶を飲みながら話をするのも楽しいです。いつまでできるか分かりませんが、できる人ができる時でできることをする、という気持ちで、続けていきたいと思っています。

### カモをとる

壬生支部 池神 隆

帰省した途端に、狩猟免許を取ることになった。猪の害が目にするようになっていた。還暦を過ぎても集落の中では若手である。待っていたかのごとく指名となった。罾猟の試験は県庁であり、法規や狩猟できる鳥獣類の見分け方などの試験で、7割できれば合格点であったと思う。久しぶりの試験に合格したので嬉しかった。

イノシシの捕獲方法も先輩から習い、同僚と2人で悪戦苦闘した。街の同僚に話すと、猪の解体まですることで驚いてくれた。

中山間地で生活する事は、百姓仕事など街では考えられない苦労もある。しかし、春の水張り圃場は一面鏡張りのように光り、やがて苗が植えられると、新緑の絨毯となる。秋は西陽で稲穂が黄金に輝き、冬は張り詰める冷気と共に、銀世界が広がる。田舎の四季は美しい。近隣の可愛川には、冬になると渡り鳥が飛来して楽しませてくれる。

小生の趣味は写真撮影で、帰省して同好のクラブに入会させても

らった。今年には雪が無いため、もっぱら近場の可愛川に



飛来する水鳥を撮影している。珍しいオシドリや、ヨシガモ、ヒヨドリガモなどである。自然環境がいいのか、今のところ毎年楽しんでる。

前出の同僚に「今は、カモをとっている」と話したら、「肉を持つてこい」と言われた。「獲る」「撮る」違いで大笑いになった。

異常気象による災害が各地で発生している。この田舎の住みやすい原風景がいつまでも持続できるように努めると同時に、仲間と共に撮影を



通じて美しい自然環境をいつまでも残したいと思う。

### 植木や山と共に

本地支部 片山三千男

私は、広島から本地の方に帰り、シルバー人材センターに入りました。植木の剪定を習い、町内で何度も仕事をしました。

特に難しいのは松でした。松の剪定は、松脂が付いたり、葉先が刺さったり、体が当たって小枝が折れたりするので、なかなかでした。その他にも色々な木があり、その木に合わせて剪定していくのは、大変な仕事ですが、体が元気なうちは、毎年続けていきたいと思えます。

時には、近くの山、海見山に行きます。そこからの眺めはきれいで、可部の町等が見られます。

箕野町長には、北広島町の美しい自然や町民の生活を守り、ご活躍いただきしたいと思います。

### 呉越同舟(こえつどうしゅう)

後援会幹事長 高田 順郎

「孫子」という本がある。中国の名高い兵法の書で、春秋時代(紀元前5世紀)に名将孫武の著作である。「呉越同舟」の語源は、こ

ここに書かれた一節である。呉の国と越の国は長い間互いに憎み合い、争いの絶えない隣国同士であった。ある時、偶然にも両国の兵卒が小さな小舟で大河を渡るために乗り合わせた。途中天候が急変して大嵐となり、転覆の寸前となったのである。

ここで、険悪であった両国の兵卒は普段の意趣を忘れ、お互いの左右の手になったように必死に協力し合い、渡岸することができた。進むことも退くこともできない必死の場である。兵卒達は、憎しみも忘れ心一つにして活路を開いた。

以上が兵法書の「呉越同舟」の解説である。要は、いかなる危機的な事に直面しても、利害を問わず冷静に一致団結の必要性を説いた兵法書である。

後援会も団結し、益々発展させましょう。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、後援会だよりの発行が大幅に遅れ、時季外れの内容となったものもありましたこと、深くお詫び申し上げます。

後援会の皆様、町内の皆様には、引き続きご理解ご支援いただきませうようお願い申し上げます。